

2023年度

事業報告書及び決算書

一般財団法人 旭川産業創造プラザ

2023年度 事業報告

1 理事会・評議員会

(1) 理事会

- *第1回 2023年6月13日（火）旭川商工会議所 4階 特別会議室
議 事 ・2022年度事業報告及び決算（監査報告含む）について
・2023年度定時評議員会の開催及び付議案件について
- *第2回 2023年7月7日（金）決議の省略による
議 事 ・2023年度事業計画及び収支予算補正第1号の承認について
・利益相反に係る承認
・決議の省略による2023年度第1回臨時評議員会の開催及び付案件について
- *第3回 2024年3月8日（金）旭川商工会議所 4階 特別会議室
議 事 ・2024年度事業計画及び収支予算について
・利益相反に係る承認について
・給与規定の一部改正について
・専門家等謝金規程の一部改正について
・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
・2023年度第2回臨時評議員会の開催及び付議案件について

(2) 評議員会

- *定 時 2023年6月27日（火）旭川商工会議所 4階 特別会議室
議 事 ・2022年度事業報告及び決算（監査報告含む）について
・評議員の選任について
・理事の選任について
- *第1回臨時 2023年7月14日（金）決議の省略による
議 事 ・2023年度事業計画及び収支予算補正第1号の承認について
- *第2回臨時 2024年3月28日（木）旭川商工会議所 4階 特別会議室
議 事 ・2024年度事業計画及び収支予算について
議 事 ・理事の選任について

2 事業報告

(1) ものづくり支援事業

ア 研究開発助成事業

道北地域において「ものづくりに意欲のある中小企業」等の新製品・新技術開発から販路拡大までを応援する助成事業として開発プランを公募し、内容が優れ事業化の可能性が高いプランに対して資金を助成するとともに、大学・公設試とのコーディネートや専門家派遣などの各種支援を行うとともに、道北地域の中核的な取組に対して事業費の一部を助成金として交付した。

(ア) I型（夢づくりものづくり支援事業）

- ・助成対象者：旭川市内の中小企業等
- ・助成期間：4月1日（土）～2月29日（木）
- ・助成上限額：50万円以内
- ・実績

募集期間：4月25日（火）～6月30日（金）

応募件数：6件（旭川市内2件、稚内市1件、東川町1件、名寄市1件、美瑛町1件）

審査会：8月29日（火）に審査会を開催し採択者を決定

採択件数：5件

助成交付決定総額：216.7万円

テーマ名	申請者（所在地）	助成額
豊富なアミノ酸を持つエゾシカの胎盤（プラセンタ）を利用したペット用サプリメントの開発プロジェクト	合同会社つれづれ	50万円
3Dプリンターを用いた家具の商品開発及び加工用治具としての活用	有限会社樹工房	41.9万円
簡単・おいしい・野菜が摂れる北海道の冷凍おこわおにぎり	(株)111	30.7万円
農作業（除草）の安全性及び効率性向上に向けた自動化装置開発	株式会社 アトム農機	44.1万円
薬膳理論を用いた食材イラストカードの開発	薬膳&ギャラリー 本草	50万円

イ 道北ものづくり応援事業

道北地域（上川・留萌・宗谷）の中小企業等に各種支援を行ったほか、金融機関・産業支援機関・行政機関などと連携し定期的な連携会議を開催するなど、道北地域における産業活性化を図るためのネットワーク事業を実施した。また、道北地域に本部がある金融機関と連携して設立したLLP（有限責任事業組合）道北産業応援ファンドの投資先である14社について、事業状況の把握と株価評価のためヒアリングの実施、並びにLLPの総会を開催した。また、出資契約期間満了前に株式の譲渡希望があり3社の出資を終了した。

(ア) 道北地域企業訪問等及び地域連会議開催日

宗谷地区 訪問：7回（14日間）、連携会議開催日：6月6日（火）

留萌地区 訪問：10回（10日間）、連携会議開催日：6月28日（水）

名寄士別地区 訪問：7回（7日間）、連携会議開催日：6月5日（月）

（AM名寄、PM士別）

富良野地区 訪問：4回（4日間）、連携会議開催日：6月13日（火）

(イ) LLP（有限責任事業組合）道北産業応援ファンド

① 株価評価替えヒアリング

全ての企業に対しヒアリングを実施 6月30日（金）～7月25日（火）。

② LLP総会開催：7月26日（水）、9月25日（月）

③ 出資終了企業

出資契約期間満了前に、株式の譲渡希望があり出資を終了した。

- ・株式会社ネクストステップ
- ・株式会社けんぶちVIVAマルシェ
- ・株式会社ファームイン道北

ウ 販路拡大支援事業（旭川市委託事業）

地域の意欲ある中小企業の販路開拓・拡大を後押しすることを目的に、商品企画から開発、展示の仕方等などについてセミナーを実施。セミナー参加者の中から道外展示会への出展事業者を選定するなど、見本市出展までの一連の取り組みについて伴走支援を行った。

(ア) セミナー

① 経営デザインシートの活用

- ・テーマ：デザインを活用した経営と価値創造
- 講師：合同会社 HYAKU 武田 壮平 氏
- ・開催：10月31日（火）
- ・会場：旭川リサーチセンター スタジオ
- ・参加者数：6名

② 販売現場

- ・テーマ：商品の想いを伝え、共感を呼ぶ店舗販促
- 講師：ヒロPOPオフィスPOPコンサルタント 渡辺 裕美 氏
- ・開催：11月8日（水）
- ・会場：旭川リサーチセンター スタジオ
- ・参加者数：5名

(イ) 展示会出展

- ・展示会名：東京インターナショナルギフトショー2024春 出展：東京都
- ・開催期間：2月6日（火）～8日（木）
- ・開催会場：東京ビックサイト
- ・出展企業：4事業者
- ・来場者数：223,040名

エ 地域企業技術力向上事業（北海道補助事業）

地域の資源や技術の集積、ネットワークを生かしたものづくり企業のレベルアップを図るため、北海道の「地域企業生産性向上事業」を活用し、公設試験研究機関やノーステック財団等と連携しながら、製造業等へのIoT、ロボティクスをはじめとした先端技術等の導入・応用・人材育成などを行い、ものづくり企業を総合的に支援した。

- ・事業期間：2022年度～2024年度（3年間）
- ・補助対象事業

(ア) 地域訪問・指導相談の実施

旭川地域にある企業からの相談に対応するとともに「道北地域ものづくり応援ネットワーク」を活用して稚内・留萌・名寄士別・富良野地域にある振興局、市役所、商工会議所、信用金庫と情報交換を活発に行い、そこから発掘された企業の訪問を実施した。

- ・訪問企業：55件、相談企業：180件
- (イ) 専門家派遣等個別相談の実施
 - ・ 専門家を派遣しての商品開発・生産性向上などの相談を実施。
 - ・ 訪問企業：1件（旭川市）
- (ウ) 先端技術・機械の情報収集の実施。
 - ・ 首都圏等で開催される展示会等にて情報収集を実施（WEB含む）
 - ・ 技術移転フォーラム2023工業試験場成果発表会（ホテル札幌ガーデンパレス） 6月1日
 - ・ 国際農業機械展in帯広2023（帯広市愛国町10番1） 7月6日
 - ・ 北洋銀行「ものづくりサステナフェア2023」（アクセスサッポロ） 7月20日
 - ・ 移動食品加工研究センターin富良野（富良野市文化会館） 8月21日
 - ・ 第96回東京インターナショナル・ギフトショー（東京ビックサイト） 9月6日～8日
 - ・ NEW ENERGY TOKYO2023（新宿住友ビル広場） 9月7日
 - ・ MONTAGE_Lifestyle Design Products Show（TOC有明） 9月7日
 - ・ 日本木工機械展（ポートメッセなごや） 10月5日～6日
 - ・ Japan IT Week【秋】（幕張メッセ） 10月25日
 - ・ 燕三条 工場の祭典2023（新潟県燕市・三条市） 10月26日～27日
 - ・ 第37回 北海道ビジネスEXPO（アクセスサッポロ） 11月10日
 - ・ アグリビジネス創出フェアin北海道（サッポロファクトリー） 11月10日
 - ・ JBIAシンポジウム（機械振興会館） 11月17日
 - ・ チャレンジフィールド北海道シンポジウム（ANAクラウンプラザホテル札幌） 12月20日
 - ・ Hokkaido Innovation week（さっぽろテレビ塔他） 1月31日
 - ・ Japan Web3 Week 2024SPRING（東京ビックサイト） 2月20日～22日
 - ・ 第21回シーフードショー大阪（ATC） 2月21日～22日
 - ・ スマートエネルギーウィーク（東京ビックサイト） 2月29日～3月2日
 - ・ UPDATE EARTH（日本トーターグリーンドーム前橋） 3月1日～3月3日
 - ・ NO-CODE SYMPOSIUM2024（ベルサール六本木） 3月14日～16日
- 参加展示会：20件

オ その他ものづくり支援事業に関わる業務

- (ア) 伴走型支援事業
 - ・ 北海道経済産業局が、新型コロナウイルス感染症に対応した、事業計画やビジネスモデルの再構築を行う道内地域中核企業の経営を支援する事業で、当財団も支援チームに参加した。
 - ・ 前年度からのFP：1件
 - ・ 21年度からの累計：13件
- (イ) 他機関の支援制度のコーディネート
 - ・ (独) 工業所有権情報・研修館 加速的支援：1件
- (ウ) 補助金等申請支援
 - ・ 国や道、自治体及び公益財団等又は金融機関等の補助事業や表彰制度への積極的な活用を促進し、研究開発促進や販路拡大、また表彰等により企業価値向上の支援のため、制度の紹介や申請の策定支援を行った。更に、経営革新等認定支援機関として、当認定支援機関の確認書が必要な申請書等に関し、企業内容及び申請内容について精査し必要な企業等に確認書の発行を行った。
- ① 主な支援事例
 - ・ 事業再構築補助金
 - ・ 相談対応数 8件
 - ・ 申請支援数 2件
 - ・ 採択数 2件

- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金
相談対応数 21件
申請支援数 9件
採択数 5件(3件申請中で採択発表前の事案有り)
 - ・小規模事業者持続化補助金
相談対応数 13件
申請支援数 5件
採択数 5件
- ② その他相談対応、申請支援等をおこなった補助制度及び表彰制度支援
事業承継補助金、IT導入補助金、食品原材料調達安定化対策事業、外食産業事業継続緊急支援対策事業、北海道中小企業新応援ファンド、中小企業競争力強化事業、旭川ものづくり支援補助金、北海道地方発明表彰、北海道新技術・新製品開発賞、旭川しんきん奨励賞等
- ・北海道地方発明表彰：10月26日（木）（グランドパーク小樽）
北海道発明協会会長賞：PM除去ユニット洗浄装置 株式会社エフ・イー
 - ・旭川しんきん産業振興奨励賞：3月12日（火）
奨励賞：日本醤油工業株式会社、北海製麺株式会社

(2) 人材育成事業

ア 人材育成助成事業

道北地域の中小企業等が、自社の人材を育成するために行う派遣研修及び自主研修事業に対しその経費の一部を助成する制度であるが、新型コロナウイルス感染症に関連した自治体等の補助制度の充実や、研修会等の中止等の影響により応募はなかった。

- ・助成対象者：旭川市内の中小企業等
- ・対象期間：採択日から2月29日（木）
- ・助成上限額：10万円以内
- ・助成率：1/2以内
- ・応募件数：0件

イ その他人材育成事業に関わる業務

道北地域の次世代人材支援のため、他機関等が取り組む人材育成事業の支援または協力を行った。

(ア) 高校生向けフィールドスタディー

株式会社マイナビが立ち上げる高校生向けオンライン学習サイト『l o c u s（ローカス）』の派遣先として、高校生の受け入れを行った。

- | | | | | | |
|---|-----------|----------|-----|-----|--------|
| ① | 9月11日（月） | 旭川龍谷高等学校 | 参加者 | 20名 | |
| ② | 10月31日（火） | 旭川実業高等学校 | 参加者 | 21名 | |
| ③ | 11月7日（火） | 旭川南高等学校 | 参加者 | 20名 | |
| ④ | 11月15日（水） | 旭川藤星高等学校 | 参加者 | 20名 | 合計 81名 |

(3) 新産業創出支援事業

ア スタートアップ伴走支援事業（旭川市委託事業）

新規創業や新ビジネス創出を行うスタートアップ事業者の支援を行った。

(ア) 創業支援

地域支援機関と連携しながら、創業相談をはじめ、あさひかわBizCafeを通年開催するなど起業家を育成、創業を希望する者を総合的に支援した。

① あさひかわBizCafe事業

場 所：旭川デザインギャラリー

形 式：ハイブリット形式（第1、5、8、9、10回はウェビナーのみ）

【実施済】計12開催、231名参加

第1回（4月20日）：17名、第2回（5月18日）：29名、第3回（6月15日）：24名、

第4回（7月20日）：22名、第5回（8月17日）：18名、第6回（9月21日）：30名、

第7回（10月19日）：16名、第8回（11月16日）：15名、

第9回（12月21日）：18名、第10回（1月18日）：10名、

第11回（2月15日）：14名、第12回（3月21日）：18名

② 創業応援セミナー

・テーマ：受賞者の声～コンテストを経た今～

・講 師：femcare salon moana 伊藤 綾 氏、STudy labo 大櫃 麻依 氏

・開 催：2024年2月17日（土）

・会 場：旭川ICTパーク コクゲキ（ハイブリッド開催）

・参加者：92名

③ 市町村への認定支援

特定創業支援を受けた創業者に対し、申請書策定支援または確認書発行等を行った。

・確認書発行件数：5件

④ 創業相談コーディネーター事業

中小企業診断士による創業相談を実施した。

【利用実績】

第1回（5月23日）経営分野、第2回（6月20日）経営分野、第3回（6月27日）人材育

成分野、第4回（8月8日）経営分野、第5回（8月23日）販売促進分野、第6回（8月

29日）財務分野、第7回（11月8日）経営・人材育成分野

合計4名に対し7回の創業相談を行った

⑤ インキュベートルーム入退出実績

・インキュベートルーム13 室 入居者数13室12事業者（卒業1事業者）

・シェアオフィス 入所者数11事業者（入居1事業者 卒業1事業者）

(イ) 創業機運醸成事業

学生等若者を対象とした創業機運醸成に関わる取組など行い、起業家予備軍創出及び発掘を促進するためワークショップの開催を行った。

① わかものBizCafe

・テーマ：旭川でビジネスを創造してみよう

・講 師：慶応義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授 岸 博幸 氏

・開 催：3月26日（火）

・会 場：旭川ICTパーク コクゲキ

・参加者数：44名

(ウ) 人材育成セミナー

① AIセミナー

・テーマ：AIの技術動向 ～チャットGTPをめぐって～

・講 師：北海道大学名誉教授兼（株）M&M知能ラボ 代表取締役 古川 正志 氏

・開 催：6月16日（金）

- ・会 場：旭川リサーチセンター スタジオ
- ・参加者数：34名
- ② インボイスセミナー（旭川中法人会・旭川東法人会合同主催）
 - ・テーマ：インボイス制度導入について
 - ・講 師：ふたば税理士法人 代表社員 西 俊輔 氏
 - ・開 催：6月26日（水）
 - ・会 場：アートホテル旭川 イーストルーム
 - ・参加者数：187名
- ③ DXセミナー（旭川ICT協議会との共催）
 - ・テーマ：ビジネス活用と仕事の変革
 - ・講 師：旭川市CDO 森本 登志男 氏
 - ・開 催：10月23日（水）
 - ・会 場：旭川ICTパーク コクゲキ
 - ・参加者数：87名
- (エ) その他新事業創出支援に関わる業務
 - ① 産学官連携の促進

地域企業と大学等研究機関の共同研究の促進し、産学官連携の支援を行った。

 - ・道総研工業試験場成果発表会参加（6月1日）
 - ・共同研究促進支援：2件
 - 先端技術を活用した原木識別システムの開発（旭川高専）
 - 農地の形状把握とカルチ位置決め機構の開発（旭川高専）
 - ② 北海道DX推進協働体

経済産業省の地域DX促進活動支援事業に北海道科学技術総合センターが北海道DX推進協働体として申請し、当財団も参画した。
 - ③ チャレンジフィールド北海道

経済産業省の「産学融合拠点創出事業（J-NEXUS）」として、ノーステック財団が創出エリア支援機関となり、社会や地域のさまざまな課題に対し、大学や自治体、企業などがもつ「知」や「つながり」を生かして北海道の経済や暮らしをもっと豊かなものにしていく事業。当財団も今年度より参画した。

(4) 経営指導・企業育成事業

- ア 道北ビジネスプランコンテスト（道北ビジネスプランコンテスト開催協議会委託事業）
- 産業競争力強化法に基づき、旭川市及び道北地域の5市3町が共同で国から認定を受けた「創業支援等事業計画」より、同市町を対象エリアとし創業又は新事業のビジネスプランを公募しコンテストの開催を行った。
- 募集期間：11月1日（水）～12月15日（金）
- 応募件数：11件（エントリー件数 12件）
- 一次審査：1月に書類審査を実施し、一次審査通過者5名を決定
- 二次審査：2月17日（土）ハイブリット開催 参加者数：92名

氏名・事業所名	地域	応募プラン名	各賞
黒木 由布里 Farms-plus	旭川市	道産ローズマリー製品の加工販売で持続可能な6次化を実現	優秀賞 視聴者賞
田中 欽也 (株)丸夕田中青果	留萌市	RUMOI の学びサロン～伝統食から魅せる食卓まで～	最優秀賞

西野 綾夏	旭川市	旭川市高校生x 早期離職防止x 入口支援からの新卒者育成環境整備	
宮内 早織	旭川市	ウェルネスライフを目指す助産師のフィットネス事業	旭川信金賞
横井 昂也 北海道アーツ&クリエイション (同)	旭川市	クリエイティブの力であなたの会社に新しい価値を！	

イ 道北地域創業支援事業

各自治体、金融機関等と連携しながら、どうほくBizCafeの開催等を行い、起業家の発掘を進め、起業家育成など創業を希望する者を総合的に支援した。

(ア) どうほくBizCafe事業

- ① 第1回 8月28日 (月) 稚内市地域交流センター：宗谷地域対象 参加者 10名
- ② 第2回 2月19日 (月) 旭川デザインギャラリー (ハイブリットセミナー)
：道北地域対象 参加者 27名

(イ) 他機関による創業支援事業の協力

- ① あさひかわ商工会 創業スクール 支援機関紹介として参加
- ② 旭川商工会議所 創業塾 相談員として参加
- ③ 株式会社LAC Mint 支援機関紹介として参加
- ④ 第1回地域課題解決アイデアコンテスト
(旭川市小中学生アイデアコンテスト実行委員会) 後援

ウ その他経営指導・企業育成事業に関わる業務

(ア) 認定経営革新等支援機関業務

認定経営革新等支援機関として以下の計画及び制度の策定支援、確認書・意見書の発行を行った。

- ・経営力向上計画 策定支援：2件
- ・先端設備導入計画 策定支援：4件、認定書発行：4件

(イ) 中小企業119

事業者が抱える様々な経営課題に対して、支援機関が専門家を派遣して課題解決をサポートする国の事業に、支援機関として実施した。

- ・専門家派遣件数：4事業者、延べ5回
- ・専門家登録件数：5名

(ウ) 知財サテライト

中小企業等が抱える知的財産に関する課題をその場で解決を図るワンストップサービスとして、(一社)北海道発明協会の事業のもとサテライトを設置し実施した。

- ・利用実績：7件

(エ) 経営発達化支援事業の評価委員

あさひかわ商工会及び留萌商工会議所が取組んでいる経営発達化支援事業の業務遂行に係る評価を行った。

(オ) その他

関係機関等が行っている相談会等への職員派遣及び表彰制度等の審査員などの経営支援に関わる業務を行った。

(5) 広報事業

ア 成果発表会（旭川産業支援報告会）

当財団の支援実績や研究成果等を広く発信する機会として、旭川市産業振興課、旭川市工芸センター、旭川市工業技術センター、旭川食品産業支援センター及び（公財）北海道中小企業総合支援センターと共同で産業支援報告会を開催した。

- ・開催：11月6日（月）
- ・会場：旭川リサーチセンター1階スタジオ（旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号）
- ・参加者数：52名

イ 一般広報事業

当財団の知名度向上や取り組みを広く周知する機会として、ラジオやホームページ、メールマガジンを通じた広報活動を行うとともに、関係機関の各種制度やセミナー等イベントの周知を行った。

(ア) 登録会員向けメールマガジンAMMの発行

- ・第493号～510号 計18号発行

(イ) FMりべる「週刊ラジオマガジン産プラネット」毎週火曜日9:30～45放送

- ・放送回数：56回（4月～3月）

(ウ) その他の情報発信

- ・あさっぴーニュース、ライナーネットワーク、Domingoなど
- ・SNS：Facebook140回、Instagram132回、
- ・旭川ケーブルテレビポテト「ポテトでこんにちは」1月11日（木）放送

ウ 後援

(ア) ラーメン甲子園実行委員会主催「ラーメン甲子園2023」10月7日（土）

(イ) 日本政策金融公庫主催「事業者のための人材課題解決！セミナー」10月16日（月）

(ウ) （一社）北海道発明協会主催「知的財産活用セミナー」1月29日（月）

(6) 交流促進事業

ア 旭川ICT協議会

地域のICT化を推進するため、「産・学・官」の垣根を越えた連携の場を設け、具体的な取組と事業化に向けた検討を行う中で、地元ICT業界の活性化と技術レベルの向上を図った。

(ア) 総会：6月16日（金）

(イ) U-16プログラミングコンテスト：11月3日（金）

イ その他の交流促進事業

他の支援機関と連携及び地域内の企業間連携の促進し、情報交換やネットワーク構築などの取り組みを図った。

北のものづくりネットワーク、北海道科学技術振興連絡協議会、北海道地域産業技術連携推進会、あさひかわデザインウィーク実行委員会、北海道ベトナム交流会旭川、旭川SOHO協議会等

(7) 食クラスター推進事業

ア 地域食クラスター形成推進事業（開発支援、製造工程管理・衛生管理支援）

(ア) 「冷凍おこわの開発支援」

支 援 先：株式会社111（名寄市）

支援内容：名寄産のもち米を使用した、具沢山で栄養バランスの良いおこわで冷凍おにぎりを製造し、忙しい母親や食が細い子供向けに販売を計画。製造方法や衛生面での助言、OEM先の紹介等の情報提供を行った。

イ 衛生管理支援事業

(ア) 自社検査導入推進

支 援 先：2社（株式会社AGRIER、合同会社つれづれ）

支援内容：食品や環境検査の実践セミナーを開催し、自社検査導入への契機として参加企業を対象とした検査用消耗品を小分け販売するとともに、使用方法について随時指導を行った。

ウ 旭川食品産業支援センター運営事業

(ア) 会議

役員会 4月28日（金）、総会 4月28日（金）、検討委員会 2月28日（火）

(イ) 相談支援

297件（令和4年度：310件）

(ウ) 食品試験

409検体、731項目（令和4年度：561検体、1,036項目）

(エ) 商品開発支援

① 「ヒューマングレードにこだわったペットフードの開発」

支 援 先：合同会社つれづれ 代表 齋藤 桂子 氏

支援内容：ノーステック財団の地域産業クラスターものづくり支援事業補助金の採択を受けた合同会社つれづれより開発の構成員への参加依頼を受け、昨年度より支援。ヒューマングレードのペットフードとして、食材の産地を限定し、添加物を使用しないペットフードや、ペット用サプリメントの開発工程での衛生面の助言及び、試験・検査を通じて技術面で支援を行った。

② 「自家製ハラペーニョを使用した瓶詰の開発」

支 援 先：榊原 英起 氏（農家）

支援内容：自宅農園で栽培しているハラペーニョを原料に、ピクルス・オイル漬け・三升漬の3種類を製品化したいとの相談があり、許可業種の確認や殺菌方法等の衛生管理の助言、試験・検査を通じて技術面で支援を行った。

(オ) セミナー、研修会等の開催（会場開催、その後YouTube配信）

① 食品表示セミナー「必要な表示としない表示」（4月）

内 容：食品添加物表示に関するガイドラインについて解説し、「無添加」に頼らないアピール方法を提案するとともに、食品表示基準において使用が禁止されている表現について注意喚起した。また、アレルギー表示など本来、必要な表示について説明した。

<申込数：12件、再生回数：31回>

② 食品製造業向けセミナー

「～小さな改善で大きなコストカット～エネルギー有効活用」（6月）

講 師：株式会社コスモ北海道工場 管理部長 鹿熊 真澄 氏

内 容：原材料価格やエネルギー価格の高騰は企業にとって深刻な課題となっていることから、大きな設備投資をしなくても身の回りや日常的に取り組むことができる省エネ方法について解説した。

<申込数：11件、再生回数：18回>

- ③ 衛生管理セミナー
「HACCP導入で会社が救われた～ヨーグルト製造会社における失敗から成功への歩み～」(7月)
講師：旭川食品産業支援センター 顧問 阿曾沼 勝 氏
内容：HACCPシステムを導入する前の様々な課題や、導入したことにより得られたメリット等について、体験活動の事例を交えて紹介した。
<申込数：10件、再生回数：33回>
- ④ 衛生管理セミナー
「2日間集中コース！正しく学んで活用する！HACCP実践セミナー」(8月)
内容：参加企業の実際の商品を例に、製品説明書と製造工程の書き出し、HA分析やCCP設定といった、HACCP構築の一連の流れを実施した。
<申込数：5件、YouTube配信なし>
- ⑤ 衛生管理セミナー「微生物のコントロールの方法」(9月)
内容：もともと食品に存在し食中毒の原因にもなる微生物について、制御方法や殺菌方法について解説するとともに、発酵食品や医薬品製造にも利用されることを紹介と有効活用について説明した。
<申込数：15件、再生回数：51回>
- ⑥ 衛生管理実習「微生物検査実習(実技・2日間)」(10月)
内容：特別な設備がなくても、自社で可能な簡易的な検査と、製品の安全性の確認はもちろん、工場内の気になる場所の衛生チェック法と、基本的な検査技法と結果の見方について説明した。
<申込数：10件、YouTube配信なし>
- ⑦ 衛生管理セミナー「冬に増えるノロウイルス食中毒！」(11月)
内容：食中毒を起こしてしまうと、集団感染が公表され信頼は失墜、更にロツトは全廃棄、製造ラインは停止して消毒という事態を招く。そうならないため、ノロウイルス、食中毒を防ぐための、食品の取扱いや従業員の対応について解説した。
<申込数：10件、再生回数：10回>
- (カ) スマイルケア食開発支援事業(特別会計事業)
- ① スマイルケア食等開発普及セミナー
テーマ：たんぱく質の重要性と健康～大豆の健康効果と利活用セミナー～(7月)
講師：株式会社ダイエット. F 榊 房子 氏(管理栄養士)
内容：たんぱく質は組み合わせる食品によって吸収率が変わることや、植物性食品の中でも大豆はアミノ酸組成のバランスが良く、骨粗しょう症予防や整腸作用、肥満予防に効果がある栄養素も多く含むことなど解説した。
<申込数：12件、YouTube配信なし>
- ② テーマ：お客様の動きを見極めたPOP作り(2月)
講師：ヒロPOPオフィス 渡辺 裕美 氏(手作りPOPコンサルタント)
内容：北海道独自の認定制度「北海道食品機能性表示制度」(ヘルシーD○)の商品を使いPR方法や、お客様に手に取ってもらうためのPOP作りについて実践し「ヘルシーD○」についても学ぶ内容とした。
<申込数：34件、再生回数：18回>
- ③ テーマ：自分の味覚を育てる！「おいしさ」を科学的に体験する味覚の教室(2月)
講師：(株)ORANGE kitchen
代表取締役 若子 みな美 氏、取締役 松本 章宏 氏
内容：おいしさを作る要素を科学的に理解し、塩分知覚キットで自分の敏感度をチェックするほか、組み合わせで変わる味の変化を体感。

<申込者数：22件、再生回数：14回>

④ テーマ：からだを作るたんぱく質って何？

～たんぱく質の栄養・消化と吸収、そして機能性～（3月）

講師：藤女子大学特任教授・北海道大学名誉教授 原 博 氏(農学博士)

共 催：NPO法人北海道バイオ産業振興協会

内 容：構造や作用の仕組みといったタンパク質についての知識や、日本人の摂取状況などの最新情報、バランスの良いタンパク質の摂り方などについて解説。更に、あまり知り知られていないタンパク質のパワーについても紹介した。

<申込者数：22件、再生回数:14回>

(キ) 展示会への出展

① 2023アグリビジネス創出フェアin Hokkaido

開 催：11月8日（水）～9日（木）

会 場：サッポロファクトリー

出展団体:16団体、来場者数:120名

同展示会は、北海道の農林水産業、食品産業及び関連産業の活性化を目指し、産学官連携による技術開発の促進、事業化チャンスの発掘とビジネスネットワークの拡大や技術開発・新技術の普及を目的としている。当センターとして支援内容や取組みの事例紹介などを行った。

エ クラスタープロジェクトの展開支援事業

(ア) 旭川食品加工協議会

① 会議

・定期総会 6月1日（木）、臨時総会 2月6日（火）、幹事会（年4回）

② 商品開発プロジェクトへの支援

・「高齢者食プロジェクト」：高齢者向け食品の開発支援

・「アマニプロジェクト（仮称）」：北海道産アマニを使った健康食品の開発支援

③ セミナー等の開催支援

④ 各種情報の提供

⑤ イベント出店への支援

・旭川デザインウィーク2023食のデザイン展 6月17日（土）～25日（日）

・北の恵み食べマルシェ2023 9月16日（土）～18日（火）

・冬の地場産フェア2023 12月9日（土）～10日（日）

・台湾販路開拓事業 3月9日（土）～13日（水）

(イ) あったか旭川まん推進会議

① 会議

・定期総会 6月28日（水）、

・旭川しょうゆ焼きそばの会との合同会議 2月21日（水）

② イベント出店への支援

・北の恵み食べマルシェ2023 9月16日（月）～18日（月）

・冬の地場産フェア2023 12月9日（土）～10日（日）

・ウエスタンパワーズ「あったか旭川まん販売会」 2月10日（土）

(ウ) 旭川しょうゆ焼きそばの会

① 会議

・総会 6月28日（水）、あったか旭川まん推進会議との合同会議 2月21日（水）

② イベント出店への支援

・北の恵み食べマルシェ2023 9月16（土）～18日（月）

・冬の地場産フェア2023 12月9日（土）～10日（日）

オ 情報発信・PR等

(ア) ホームページの活用

- ① 「センター長コラム」
連載：「HACCP導入、運用のコツ」（毎月更新）
- ② 「センターかわら版」（令和2年12月～）
随時更新
- ③ その他（セミナー・研修会、展示会、補助金等の情報を発信）
随時更新

(8) その他の事業

ア 飲食業人材不足等対応支援補助金（旭川市補助事業）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け人材不足が顕著となっており、社会経済活動が本格化する中であっても十分な営業を行うことができていない恐れのある飲食業において、人材不足を補いサービスを維持向上するための機器導入や、新たなサービス実施のために必要な設備投資を支援し、地域経済の活性化を促進させることを目的に旭川市の間接補助として支援した。

- ① 補助対象者：旭川市内の中小企業等
- ② 補助対象期間：4月1日（土）～12月31日（日）
- ③ 補助実績
 - ・ 募集期間：1次募集8月1日（火）～9月4日（月）
2次募集9月7日（木）～9月22日（金）
 - ・ 応募件数：46件（1次31件、2次15件）
 - ・ 採択件数：41件（1次31件、2次10件）
 - ・ 補助総額：24,843,000円

貸借対照表

2024年 3月31日現在

一財) 旭川産業創造プラザ

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,469,552	51,585,686	1,883,866
未収金	19,504,263	12,874,341	6,629,922
貯蔵品	1,951,072	1,554,063	397,009
立替金	2,750	8,250	▲5,500
前払費用	195,100	170,022	25,078
流動資産合計	75,122,737	66,192,362	8,930,375
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	95,836,603	90,271,828	5,564,775
建物	227,300,174	235,735,783	▲8,435,609
建物付属設備	5,220,500	2,349,666	2,870,834
構築物	3	3	0
機械装置	1	1	0
工具器具	21	21	0
投資有価証券	699,911,698	699,911,698	0
基本財産合計	1,028,269,000	1,028,269,000	0
(2) 特定資産			
修繕積立資産現金預金	12,000,000	12,000,000	0
特定資産合計	12,000,000	12,000,000	0
(3) その他固定資産			
機械装置	2	73,350	▲73,348
什器備品	2,050,006	2,650,006	▲600,000
電話加入権	452,352	452,352	0
投資有価証券	842,691,287	843,719,326	▲1,028,039
その他固定資産合計	845,193,647	846,895,034	▲1,701,387
固定資産合計	1,885,462,647	1,887,164,034	▲1,701,387
資産合計	1,960,585,384	1,953,356,396	7,228,988
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,594,733	6,793,713	801,020
前受金	1,376,599	729,032	647,567
預り金	1,279,195	1,074,856	204,339
流動負債合計	10,250,527	8,597,601	1,652,926
2. 固定負債			
長期借入金	700,000,000	700,000,000	0
固定負債合計	700,000,000	700,000,000	0
負債合計	710,250,527	708,597,601	1,652,926
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体寄付金	954,771,875	963,916,208	▲9,144,333
旭川市出捐金	39,467,046	39,998,062	▲531,016
民間寄付金	13,054,138	13,174,580	▲120,442
指定正味財産合計	1,007,293,059	1,017,088,850	▲9,795,791
(うち基本財産への充当額)	(932,520,429)	(938,085,204)	▲5,564,775
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	243,041,798	227,669,945	15,371,853
(うち特定資産への充当額)	(95,748,571)	(90,183,796)	(5,564,775)
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
正味財産合計	1,250,334,857	1,244,758,795	5,576,062
負債及び正味財産合計	1,960,585,384	1,953,356,396	7,228,988

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一財) 旭川産業創造プラザ

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考																																																												
I 一般正味財産増減の部																																																																
1. 経常増減の部																																																																
(1) 経常収益																																																																
基本財産運用益	(11,281,241)	(11,282,707)	(▲1,466)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">銘柄</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">単位: 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">額</td> <td style="text-align: center;">面</td> <td style="text-align: center;">利率</td> <td style="text-align: center;">運用収入</td> </tr> <tr> <td colspan="4">第49回 住宅金融支援機構債</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">500,000,000</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2.110%</td> <td style="text-align: right;">8,397,509</td> </tr> <tr> <td colspan="4">第132回 利付国債</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">200,000,000</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.700%</td> <td style="text-align: right;">2,883,732</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">小 計</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">11,281,241</td> </tr> <tr> <td colspan="4">日本生命第2回ローン流動化株劣後債</td> </tr> <tr> <td colspan="4">償還日: 2028/9/18</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">100,000,000</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.030%</td> <td style="text-align: right;">907,550</td> </tr> <tr> <td colspan="4">クレジット/AG SGP GR 社債</td> </tr> <tr> <td colspan="4">償還日: 2025/2/21</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">700,000,000</td> <td></td> <td style="text-align: center;">段階利率</td> <td style="text-align: right;">3,361,535</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">小 計</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">4,269,085</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">15,550,326</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">*資産運用規定第6条に基づく記載</p>	銘柄		単位: 円		額	面	利率	運用収入	第49回 住宅金融支援機構債				500,000,000		2.110%	8,397,509	第132回 利付国債				200,000,000		1.700%	2,883,732	小 計		11,281,241		日本生命第2回ローン流動化株劣後債				償還日: 2028/9/18				100,000,000		1.030%	907,550	クレジット/AG SGP GR 社債				償還日: 2025/2/21				700,000,000		段階利率	3,361,535	小 計		4,269,085		合 計		15,550,326	
銘柄		単位: 円																																																														
額	面	利率	運用収入																																																													
第49回 住宅金融支援機構債																																																																
500,000,000		2.110%	8,397,509																																																													
第132回 利付国債																																																																
200,000,000		1.700%	2,883,732																																																													
小 計		11,281,241																																																														
日本生命第2回ローン流動化株劣後債																																																																
償還日: 2028/9/18																																																																
100,000,000		1.030%	907,550																																																													
クレジット/AG SGP GR 社債																																																																
償還日: 2025/2/21																																																																
700,000,000		段階利率	3,361,535																																																													
小 計		4,269,085																																																														
合 計		15,550,326																																																														
基本財産受取利息	11,281,241	11,282,707	▲1,466																																																													
事業収入	(84,094,997)	(81,612,165)	(2,482,832)																																																													
ものづくり支援事業	2,726,900	2,726,900	0																																																													
経営指導・企業育成事業	700,000	700,000	0																																																													
新産業創出支援事業	2,799,500	2,799,500	0																																																													
施設貸貸事業	77,868,597	75,385,765	2,482,832																																																													
受取補助金等	(55,518,175)	(79,146,842)	(▲23,628,667)																																																													
受取地方公共団体補助金	46,253,400	70,190,400	▲23,937,000																																																													
指定正味財産からの振替額	9,264,775	8,956,442	308,333																																																													
受取負担金	(600,000)	(830,000)	(▲230,000)																																																													
受取負担金	600,000	830,000	▲230,000																																																													
雑収益	(5,074,482)	(4,102,502)	(971,980)																																																													
受取利息	4,269,085	3,594,137	674,948																																																													
雑収益	805,397	508,365	297,032																																																													
経常収益計	156,568,895	176,974,216	▲20,405,321																																																													
(2) 経常費用																																																																
事業費	(96,626,675)	(118,263,245)	▲21,636,570																																																													
給料手当	9,607,918	7,573,501	2,034,417																																																													
法定福利費	558,086	425,499	132,587																																																													
福利厚生費	15,610	34,500	▲18,890																																																													
旅費交通費	2,020,400	1,937,383	83,017																																																													
通信運搬費	105,281	94,993	10,288																																																													
消耗品費	2,325,585	1,679,864	645,721																																																													
修繕費	3,082,200	3,509,186	▲426,986																																																													
印刷製本費	354,261	244,000	110,261																																																													
燃料費	160,400	177,006	▲16,606																																																													
光熱水料費	16,651,270	17,083,951	▲432,681																																																													
使用料及び賃借料	4,040,450	4,336,281	▲295,831																																																													
災害保険料	532,978	557,206	▲24,228																																																													
諸謝金	2,775,260	2,690,914	84,346																																																													
租税公課	8,980,880	8,980,880	0																																																													
負担金	95,000	80,000	15,000																																																													
減価償却費	9,086,536	8,674,869	411,667																																																													
支払手数料	90,900	115,150	▲24,250																																																													
委託費	7,871,430	7,167,500	703,930																																																													
広告宣伝費	1,226,627	1,848,091	▲621,464																																																													
交際費	35,603	23,105	12,498																																																													
助成金	27,010,000	51,029,000	▲24,019,000																																																													
雑費	0	366	▲366																																																													
管理費	(44,616,618)	(48,153,905)	(▲3,537,287)																																																													
役員報酬	4,080,000	4,080,000	0																																																													
給料手当	16,541,570	21,545,343	▲5,003,773																																																													
報酬	550,914	545,460	5,454																																																													
法定福利費	8,823,320	8,615,526	207,794																																																													
福利厚生費	1,158,419	897,318	261,101																																																													
旅費交通費	706,528	657,171	49,357																																																													
通信運搬費	480,329	429,032	51,297																																																													
消耗品費	410,380	31,449	378,931																																																													
印刷製本費	50,000	0	50,000																																																													
燃料費	5,350	5,350	0																																																													
光熱水料費	896,356	801,708	94,648																																																													
使用料及び賃借料	1,520,305	1,121,675	398,630																																																													
災害保険料	101,572	128,027	▲26,455																																																													
諸謝金	480,000	507,273	▲27,273																																																													
租税公課	2,943,209	3,278,943	▲335,734																																																													
負担金	3,436,000	3,426,000	10,000																																																													
減価償却費	851,587	729,372	122,215																																																													
支払手数料	104,165	101,836	2,329																																																													
委託費	1,397,470	1,216,500	180,970																																																													
広告宣伝費	45,000	35,000	10,000																																																													
交際費	6,363	0	6,363																																																													
会議費	22,719	922	21,797																																																													
雑費	5,062	0	5,062																																																													
経常費用計	141,243,293	166,417,150	▲25,173,857																																																													
評価損益等調整前当期経常増減額	15,325,602	10,557,066	4,768,536																																																													
投資有価証券評価損益等	(▲484,765)	(▲439,045)	(▲45,720)																																																													
投資有価証券評価損益等	▲484,765	▲439,045	▲45,720																																																													
評価損益等計	▲484,765	▲439,045	▲45,720																																																													
当期経常増減額	14,840,837	10,118,021	4,722,816																																																													
2. 経常外増減の部																																																																
(1) 経常外収益																																																																
受取寄付金振替	(531,016)	(479,846)	(51,170)																																																													
経常外収益計	531,016	479,846	51,170																																																													
(2) 経常外費用																																																																

経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	531,016	479,846	51,170	
当期一般正味財産増減額	15,371,853	10,597,867	4,773,986	
一般正味財産期首残高	227,669,945	217,072,078	10,597,867	
一般正味財産期末残高	243,041,798	227,669,945	15,371,853	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	(▲9,795,791)	(▲9,436,288)	(▲359,503)	
一般正味財産への振替額	▲9,795,791	▲9,436,288	▲359,503	
当期指定正味財産増減額	▲9,795,791	▲9,436,288	▲359,503	
指定正味財産期首残高	1,017,088,850	1,026,525,138	▲9,436,288	
指定正味財産期末残高	1,007,293,059	1,017,088,850	▲9,795,791	
III 正味財産期末残高	1,250,334,857	1,244,758,795	5,576,062	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）による。
 ② その他有価証券・・・部分純資産直入法による。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法により、期末棚卸高は経常費用から控除している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（建物、建物付属設備、構築物、機械装置、工具器具、什器備品）

定額法による。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜処理による。

2 会計方針の変更

該当なし。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	90,271,828	5,564,775	0	95,836,603
投資有価証券	699,911,698	0	0	699,911,698
建物	235,735,783	0	8,435,609	227,300,174
建物付属設備	2,349,666	2,870,834		5,220,500
構築物	3	0	0	3
機械装置	1	0	0	1
工具器具	21	0	0	21
小 計	1,028,269,000	8,435,609	8,435,609	1,028,269,000
特定資産				
修繕積立資産現金預金	12,000,000	0	0	12,000,000
修繕積立資産有価証券	0	0	0	0
小 計	12,000,000	0	0	12,000,000
合 計	1,040,269,000	8,435,609	8,435,609	1,040,269,000

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
普通預金	95,836,603	(88,032)	(95,748,571)	0
投資有価証券	699,911,698	(699,911,698)	(0)	0
建物	227,300,174	(227,300,174)	(0)	0
建物付属設備	5,220,500	(5,220,500)	(0)	0
構築物	3	(3)	(0)	0
機械装置	1	(1)	(0)	0
工具器具	21	(21)	(0)	0
小計	1,028,269,000	(932,520,429)	(95,748,571)	0
特定資産				
修繕積立資産現金預金	12,000,000	(0)	(12,000,000)	0
修繕積立資産有価証券	0	(0)	(0)	0
小計	12,000,000	(0)	(12,000,000)	0
合計	1,040,269,000	(932,520,429)	(107,748,571)	0

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	339,254,951	111,954,777	227,300,174
建物付属設備	46,368,909	41,148,409	5,220,500
構築物	1,074,049	1,074,046	3
機械装置	1,159,598	1,159,595	3
工具器具	767,589	767,568	21
什器備品	4,920,360	2,870,354	2,050,006
合計	393,545,456	158,974,749	234,570,707

7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

該当なし。

8 保証債務等の偶発債務

該当なし。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時 価	評価損益
第4 9 回住宅金融支援機構債	503,329,092	546,597,800	43,268,708
第1 3 2 回利付国債	199,965,670	217,597,800	17,632,130
日本生命第2回ローン流動化株式会社第1 回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保債	99,841,177	99,160,000	▲ 681,177
クレディスイスAG, SGP 確定利付債	700,000,000	700,000,000	0
合計	1,503,135,939	1,563,355,600	60,219,661

注) 時価評価は、日本証券業協会の定めるガイドラインによる。

1 0 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
飲食業人材不足等対応支援補助金	旭川市	0	30,803,000	30,803,000	0	一般正味財産
一財) 旭川産業創造プラザ運営補助	旭川市	9,450,400	9,450,400	9,450,400	9,450,400	
地域企業技術力向上事業	北海道	0	6,000,000	6,000,000	0	-
指定正味財産より振替		0	9,264,775	9,264,775	0	-
合計		9,450,400	55,518,175	55,518,175	9,450,400	

1 1 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益等への振替額	
減価償却費計上による振替額	9,264,775
有組) 道北産業応援ファンド評価損計上による振替額	531,016
合 計	9,795,791

1 2 引当金の明細

該当なし。

1 3 関連当事者との取引の内容

該当なし。

1 4 重要な後発事象

該当なし。

1 5 その他

(1) その他有価証券の減損処理について

その他有価証券について、484,765 円の減損処理を行っており、この金額は投資有価証券評価損益等を含めて処理している。なお、減損に当たっては、有限責任事業協同組合道北産業応援ファンドの評価に基づき減損処理を行っている。

附 属 明 細 書

1 基本財産および特定資産の明細

財務諸表に対する注記 3 に記載のとおり

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記 1 2 に記載のとおり

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)				
現金 預金 未収金 貯蔵品 立替金 前払費用	手元資金	運転資金として	183,413	
	普通預金	運転資金等として	53,286,139	
	旭川市補助金	管理費充当財源として	9,450,400	
	事業補助・委託・負担金収入	事業充当財源として	6,079,040	
	財産運用収入	管理費充当財源として	1,437,394	
	施設賃貸事業収入	施設賃貸事業充当財源として	2,516,058	
	管理費	自動販売機手数料他	21,371	
	電球・トナー・コピー用紙・重油・切手等	施設・総務管理用として	1,951,072	
	食品産業支援センター	名刺印刷立替分	2,750	
	㈱北海道日立システムズ	P C A会計クラウド2024年度使用料	150,000	
	㈱スマイルワークス	2024年度給与システム使用料	3,300	
	㈱東京商工リサーチ	2024年度TSR基本料金情報料金	32,083	
	旭川商工会議所	生命保険掛金4月分	9,717	
流動資産合計			75,122,737	
(固定資産)				
基本財産 特定資産 その他の 固定資産	投資有価証券	(株)野村證券旭川支店	699,911,698	
	建物	旭川リサーチセンター	227,300,174	
	建物付属設備	"	5,220,500	
	構築物	"	3	
	機械装置	"	1	
	工具器具他	"	21	
	預金	普通預金(旭川信金)	減価償却費相当分として	95,836,603
	修繕積立資産	普通預金(旭川信金)	賃貸事業の大規模修繕資金として留保している。	12,000,000
	什器備品	ネットワーク通信機器	賃貸事業の保有財産及び事務所用として使用している。	2,050,006
	機械装置	食品加工用乾燥機・粉砕機	賃貸事業の貸し出し機器として使用している。	2
	電話加入権	10回線分	事務連絡用として	452,352
	投資有価証券	有組)道北産業応援ファンド他	収益事業として保有している。	842,691,287
	固定資産合計			1,885,462,647
資産合計			1,960,585,384	
(流動負債)				
未払金 前受金	管理費	消費税・消費税	1,406,500	
	ものづくり支援事業	研究開発助成金他として	872,532	
	施設賃貸事業	光水熱費他	4,220,366	
	管理費	3月度給与他	1,095,335	
	施設賃貸事業	4月分賃料他	1,376,599	
預り金	敷金	24入居者	568,470	
	所得税・住民税	預り所得税他	113,632	
	社会保険・雇用保険等	社会保険他	597,093	
流動負債合計			10,250,527	
(固定負債)				
長期借入金	旭川市からの長期借入	運用資金として使用している。	700,000,000	
固定負債合計			700,000,000	
負債合計			710,250,527	
正味財産			1,250,334,857	
負債及び正味財産合計			1,960,585,384	